

令和3年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市奥薬研修景公園及びむつ市薬研温泉露天風呂	
指定管理者	団体名	大信産業有限会社
	代表者	畑中 祐美子
	所在地	むつ市大畑町本町80-94
指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日（3年間）	
指定管理業務の概要	1. 観光客や市民等の利用者の健康増進と保養の場の提供に関する事。 2. 観光情報の提供及び観光振興に関する事。 3. 修景公園・薬研温泉露天風呂の清掃その他、環境整備に関する事。 4. 修景公園・薬研温泉露天風呂の施設、設備等の維持管理に関する事。 5. 露天風呂の施設の提供に関する事。	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収入合計(A)	9,875	8,856	△1,019
うち利用料金額	2,215	1,059	△1,156
うち指定管理料	7,650	7,650	0
支出合計(B)	9,875	9,471	△404
うち人件費	3,032	3,291	259
収支差(A-B)	0	△615	△615
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	令和3年8月9日むつ市・風間浦村豪雨災害により薬研地区への道路が全方向通行止めとなり、さらに新型コロナ感染拡大防止のための公共施設閉鎖も重なり8月9日から9月30日まで閉館となった。また、外出自粛の影響や老朽化による機械の故障等で夫婦かっぱの湯を利用できない日があるなど利用料金の減少となった。		

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	レストハウス	12,790	7,405	△5,385
	夫婦かっぱの湯	7,790	4,118	△3,672
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施（無） <ol style="list-style-type: none"> 観光客には、露天風呂や周囲の景観がとても良いとの評価をいただきました。 施設内外の清掃や美化に努め来館者から清潔感があって良いとの評価をいただきました。 夏場に限らず湯温が高い状態が続き、常に温度管理に努めてきました。 時期によりアブやカメムシ等が発生し苦情があり、害虫駆除に努めてきました。 				

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収入	支出
入浴ポイントカードの実施	13	0	0
収穫祭の実施	0	0	0
バスタオル・湯あみ着貸出料	バ79・湯11	バ24・湯5	バ8・湯2

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価（A：優良 B：適正 C：要改善）

評価基準 A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果があった。

B（適正）：計画された業務水準を概ね達成した。

C（要改善）：計画された業務水準を達成できなかった。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の收受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	A
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊤自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目の改善策を記載すること。

ホームページやフェイスブック等で情報発信に取り組み、施設内外の清掃や美化、スタッフの接客マナーに取り組み、お客様から高評価をいただきました。しかしながら新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置により公共施設の閉鎖や施設の利用が制限される等今年度も新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、さらには温帯低気圧の影響による大雨被害も重なり約2か月近く施設を休館することとなりました。レストハウス利用者数も前年度比5.3%減となりましたが、11月のマスコミ等の取材を積極的に受け入れたことなどから夫婦かっぱの湯の利用者数は前年度比10%増となりました。今後もマスコミ等の取材を積極的に受け入れ関係団体等とも連携を図り、これまで以上に新型コロナウイルス感染予防に努めるとともに安心安全に努めてまいります。

7. 市の所管課総合評価 ㊦市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

令和3年度は昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響に加え、令和3年8月の豪雨災害の影響で2ヶ月弱の施設閉鎖となったが、速やかにご対応いただいたうえ、情報発信もわかりやすい工夫がされていた。また、災害後は利用者が安全に利用できるよう、露天風呂の清掃・消毒、水質検査を速やかに実施していただいた。新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた来客数も徐々に回復してきたため、今後も利用促進に向けた情報発信及び感染予防対策を、市と協力のもと徹底していただきたい。